

令和6年度「第2回集団宿泊指導者研修会」事業報告書

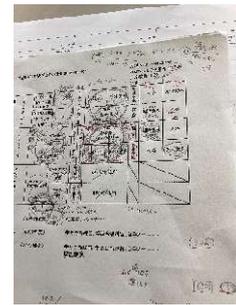
1 事業内容

- (1) 趣 旨 香々地青少年の家を利用する学校等利用団体の指導者を対象に、事前にプログラムの立案を行い、集団宿泊活動の効果的な実施を図る。
- (2) 対 象 香々地青少年の家を利用して集団宿泊活動を行う学校の指導者
- (3) 実施期間 令和6年6月10日(月)
- (4) 場 所 大分県立香々地青少年の家
- (5) 参加人数 40団体 41名
- (6) プログラム

時 間	内 容	会 場
13:00~13:20	○受付	別館玄関
13:20~13:25	○開会行事	視聴覚室
13:25~13:55 (40分)	○研修 学校における集団宿泊活動の充実 ・集団宿泊活動の意義について	視聴覚室
13:55~14:05 (5分)	○休憩	
14:05~15:30 (80分)	○班別協議 ・施設利用の仕方について(説明) ・団体ごとの活動調整について(協議)	各研修室
15:30~16:15 (45分)	○個別相談・下見など	各施設

- 2 全体を通して本研修を有意義であったと答えた割合
89%(評価4段階中4が89%、評価3が11%)

3 事業の様子



4 参加者の御意見

- ・活動内容の簡単な確認をして、班別協議の話合いがスムーズに感じた。
- ・準備されて大変だと思いますが、とても分かりやすくイメージしやすかった。当日は子どもたちと来てよかったと思える日にしていきたいと思います。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・事前に活動計画を持ち寄り学校間で協議することで、お互いの活動を参考にしたり意見を聞けたりできた。
- ・体験活動の意義についての講義を実施したことで、活動に対する目的を明確にすることができた。
- ・協議後、施設見学を実施したことで、参加者が動線や活動場所を確認でき具体的なイメージを持つことができた。

(2) 課題

- ・団体が昨年度の活動内容を変えずに計画表を持ち寄ったり、無計画でグループ協議をしたりしていた。開催案内を送付する際、事前に利用のてびきの熟読、参加者の実態把握、団体学校内で活動内容を協議熟考した上での計画立案を依頼する。